

行雲流水

No. 3 1 3 令和5年6月1日発行

大会の運営を支える力に

校長 寒河江 正人

生徒諸君、
きみたちがかかわる「さくらんぼマラソン」について、少しだけ紹介しましょう。

正式な大会名は、「果樹王国ひがしねさくらんぼマラソン大会」といいます。

今年で、第20回の開催となります。

生徒諸君が生まれる前から、この大会は続いているんですね。

新型コロナウイルス感染症による開催中止や開催方法の変更・工夫等を経て、

4年振りの「リアル大会」の開催となります。

大会開催の目的は、

「マラソンを通じて、**さくらんぼ生産量日本一・さくらんぼの王様「佐藤錦」発祥の地**である山形県**東根市を全国に発信**すると共に、**市民が主体**となり、全国から集まるランナーを「**おもてなし**」の**こころで迎える**ことにより、地域経済の活性化と地域の枠組みを越えた**交流を深め**、参加者の**健康維持・増進を図る**ことを目的とする。」と掲げられています。

大会実行委員会の**会長は、土田正剛東根市長**。

会長を含む**18名で実行委員会が組織**されています。

私もその実行委員の一人として、冬から会議を重ねてきました。

第1回大会当時の参加ランナーは、**3410人**。

回を重ねて、ランナーが増加し、**第11回大会以降は、1万2000人**を超えました。

第17回大会は、過去最高の1万2593人のランナーが参加しました。

本県内からはもちろん、**県外・海外から**の参加者もいました。

年齢層も幅広く、**下は10歳未満から、上は80歳以上まで**います。

今年の第20回大会は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の一環として、

密を避けるために、参加者を6195人に減らして大会を開催いたします。

そうしたランナーを約**2000人のボランティアの皆さんが大会運営を支えています**。

生徒諸君、**きみたちもその中の貴重な1人**です。よろしくお願いします！！